



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年11月11日  
東

上場会社名 株式会社大運 上場取引所  
 コード番号 9363 URL http://www.daiunex.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 健一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 吉野 弘一 (TEL) 06-6532-4101  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 ( )

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	3,301	3.5	△30	—	△3	—	1	△98.2
26年3月期第2四半期	3,188	△0.2	63	72.0	70	88.7	57	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
27年3月期第2四半期	0.02		—					
26年3月期第2四半期	0.93		—					

四半期経営成績に関する注記

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	5,907	2,043	34.6
26年3月期	5,714	2,009	35.2

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 2,043百万円 26年3月期 2,009百万円

四半期財政状態に関する注記

四半期業績に関する注記

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,500	1.0	5	△95.7	30	△76.7	20	△88.5	0.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	62,280,394株	26年3月期	62,280,394株
27年3月期2Q	104,629株	26年3月期	101,829株
27年3月期2Q	62,177,194株	26年3月期2Q	62,182,387株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

●この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算書の開示時点において、四半期財務諸表に関するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ(3)「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期財務諸表 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(平成26年4月1日～平成26年9月30日)におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動からの持ち直しの動きは鈍く、工場の海外移転により円安のメリットを享受できない輸出企業も多く、景気の先行きは不透明な状況にあります。

当業界におきましては、規制緩和と荷主メーカーの大幅な物流コスト見直しにより低価格化競争が続き、引き続き厳しい環境にあります。

このような状況の中、当社におきましては、新規取引をはじめ受注の拡大に取り組んでまいりました。

しかしながら、売上の増加率を上回る原価率の上昇やリーマンショック以降経費削減策として実行してきた従業員給与・賃金の労働条件等の協力を一部見直した事等による経費増加から損益分岐点が上がり、利益が減少しております。受取家賃の増加等により、営業外損益は増加しております。

この結果、当第2四半期累計期間における営業収入は、3,301,588千円で、前年同四半期累計期間と比べ、113,082千円(3.6%)の増収となりました。しかしながら、営業損失は30,812千円で、前年同四半期累計期間と比べ、94,350千円(―%)の減益、経常損失は3,056千円で、前年同四半期累計期間と比べ、73,802千円(―%)の減益となりました。また、四半期純利益は1,034千円となり、前年同四半期累計期間と比べ、56,840千円(98.2%)の減益となりました。

各セグメントの業績の状況は次の通りであります。

## ①港湾運送事業

当社の主要セグメントである当セグメントにおきましては、円安継続の影響により、輸出関連の収入は堅調に推移したものの、輸入関連の収入は厳しいものであります。

この結果、営業収入(セグメント間の内部売上高又は振替高を除く)は、3,175,816千円で、前年同四半期累計期間と比べ、120,997千円(4.0%)の増収となり、全セグメントの96.2%を占めております。

しかしながら、経費増加等の影響で、セグメント利益(営業利益)は、170,182千円で、前年同四半期累計期間と比べ、80,128千円(32.0%)の減益となりました。

## ②自動車運送事業

当セグメントにおきましては、引き続き厳しい状況が続きました。

この結果、営業収入(セグメント間の内部売上高又は振替高を除く)は、121,235千円で、前年同四半期累計期間と比べ、7,613千円(5.9%)の減収となり、全セグメントの3.7%を占めております。

セグメント損失(営業損失)は、29,942千円で、前年同四半期累計期間と比べ、6,096千円(前年同四半期累計期間は△23,846千円)の減益となりました。

## ③その他

当セグメントにおきましては、前年同四半期累計期間と比べ、輸入関連の荷動きが減少したことにより、海上保険収入が伸び悩みました。

この結果、営業収入は、4,537千円で、前年同四半期累計期間と比べ、300千円(6.2%)の減収となり、全セグメントの0.1%を占めております。

セグメント利益(営業利益)は、4,460千円で、前年同四半期累計期間と比べ、287千円(6.1%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末より168,846千円増加して3,558,936千円となりました。これは立替金の増加117,516千円、現金及び預金の増加38,402千円、前払費用の増加17,144千円等によるものであります。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産は、前事業年度末より21,953千円増加して2,332,470千円となりました。これは投資有価証券の増加40,442千円、のれんの減少13,965千円等によるものであります。

(繰延資産)

当第2四半期会計期間末における繰延資産は、前事業年度末より2,381千円増加して16,419千円となりました。これは社債発行に伴う社債発行費の増加2,381千円によるものであります。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末より22,043千円増加して2,157,852千円となりました。これは前受金の増加53,819千円、1年内償還予定の社債の増加47,600千円、営業未払金の増加47,300千円、1年内返済予定の長期借入金の減少65,228千円、短期借入金の減少45,200千円等によるものであります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債は、前事業年度末より137,766千円増加して1,706,863千円となりました。これは社債の増加78,600千円、退職給付引当金の増加43,340千円等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末より33,371千円増加して2,043,109千円となりました。これはその他有価証券評価差額金の増加32,468千円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、平成26年11月10日に発表した「業績予想の修正に関するお知らせ」において開示しておりますので、ご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期累計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,169,021	2,207,423
受取手形	5,155	2,381
営業未収入金	785,641	778,182
立替金	399,580	517,096
その他	36,912	59,316
貸倒引当金	△6,220	△5,463
流動資産合計	3,390,089	3,558,936
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	185,919	179,432
構築物(純額)	3,815	3,613
機械及び装置(純額)	14,325	14,988
車両運搬具(純額)	42,627	44,547
工具、器具及び備品(純額)	10,806	11,845
土地	576,183	576,183
リース資産(純額)	31,353	26,951
有形固定資産合計	865,031	857,563
無形固定資産		
のれん	363,103	349,137
その他	98,394	86,528
無形固定資産合計	461,498	435,666
投資その他の資産		
投資有価証券	728,911	769,354
差入保証金	94,934	95,414
その他	409,203	417,687
貸倒引当金	△249,062	△243,215
投資その他の資産合計	983,986	1,039,240
固定資産合計	2,310,516	2,332,470
繰延資産		
社債発行費	14,037	16,419
繰延資産合計	14,037	16,419
資産合計	5,714,644	5,907,826

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	39,886	40,437
営業未払金	521,269	568,570
短期借入金	705,800	660,600
1年内償還予定の社債	147,600	195,200
1年内返済予定の長期借入金	541,168	475,940
未払金	52,215	52,158
未払法人税等	27,279	9,576
賞与引当金	36,733	37,600
その他	63,856	117,769
流動負債合計	2,135,809	2,157,852
固定負債		
社債	488,600	567,200
長期借入金	802,752	830,498
退職給付引当金	195,385	238,725
その他	82,359	70,440
固定負債合計	1,569,096	1,706,863
負債合計	3,704,905	3,864,716
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,394,398	2,394,398
資本剰余金		
資本準備金	314,304	314,304
その他資本剰余金	433,446	433,446
資本剰余金合計	747,751	747,751
利益剰余金		
利益準備金	5,856	5,856
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△978,272	△977,238
利益剰余金合計	△972,416	△971,382
自己株式	△10,575	△10,706
株主資本合計	2,159,158	2,160,061
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△149,419	△116,951
評価・換算差額等合計	△149,419	△116,951
純資産合計	2,009,738	2,043,109
負債純資産合計	5,714,644	5,907,826

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業収入	3,188,506	3,301,588
営業原価	2,957,200	3,156,811
営業総利益	231,305	144,777
販売費及び一般管理費	167,768	175,590
営業利益又は営業損失(△)	63,537	△30,812
営業外収益		
受取利息	86	85
受取配当金	11,194	12,390
受取家賃	7,498	13,959
雑収入	14,558	32,198
営業外収益合計	33,337	58,634
営業外費用		
支払利息	24,492	24,103
社債発行費償却	1,151	1,635
貸倒引当金繰入額	—	1,205
雑損失	484	3,932
営業外費用合計	26,129	30,877
経常利益又は経常損失(△)	70,745	△3,056
特別利益		
固定資産売却益	98	2,259
投資有価証券売却益	1,376	5,014
特別利益合計	1,475	7,274
特別損失		
投資有価証券評価損	2,499	—
特別損失合計	2,499	—
税引前四半期純利益	69,721	4,218
法人税、住民税及び事業税	11,846	3,184
法人税等合計	11,846	3,184
四半期純利益	57,874	1,034

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。